

### 資料1 「年間指導目標設定のためのワークシート」

生徒氏名 ○○ ○○

家庭の将来像

職場の将来像

余暇の場の将来像

将来的なグループホーム生活を目指し、実家で責任をもって自ら家事(洗濯、掃除、買い物、調理、荷物の整理整頓)を行い、規則正しい生活をしている。また、家族に相談しながら定期的に一人で病院に行き、薬の管理も自ら行っている。

特例子会社に勤務し(店舗のバックヤード又は清掃や軽作業)、一日6~8時間程度の労働に従事している。月に手取り10万程度の給料を貰っている。上司からの指示を素直に受け入れながら、与えられた仕事を手順通りに手早く行っている。困った時には、自分から職場の仲間や上司に相談し、解決している。

休日は、友だちと一緒にバスケットボールの練習に参加したり、電話で友だちや同僚と約束をして、電車や自転車で映画鑑賞や買い物に行ったりしている。給料を貯金し、好きなゲームやアニメの関連商品を買って、家庭で楽しんでいる。予算内で買い物をし、家族のために料理を作ることがある。

①将来像に書かれている具体的な内容に関わる実態について書く。

上記の将来像に対しての現時点での生徒の実態はどのようなものか。

〔できていること〕
〔課題〕

〔できていること〕
<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返しやると、手順を覚え、手順通りにできるようになる</li> <li>・慣れている人への相談はできる</li> <li>・周囲の状況によく気づく</li> </ul>
〔課題〕
<ul style="list-style-type: none"> <li>・手先が不器用</li> <li>・万単位の金額の理解×</li> <li>・6~8時間働ける体力がない。</li> <li>・指示に対し、時折一言多いことがある。</li> </ul>

〔できていること〕
〔課題〕

②将来像を見て、現時点で「できていること(到達点)」と「課題」を分けて実態を整理する。

将来像の現実化を進める上で、上記の実態から考えて、23~25歳までにどのような力を高めることが必要であるか(仲間を気遣い協力して取り組む力、最初から最後まで一人だけで取り組み続ける力、時間配分を考えて計画的に活動を進める力等、○○力で終わるように考える)。

「力」の押さえ。  
将来像を実現するために身につける必要がある力。  
「23~25歳までに身につけたい力」

- ①手早く取り組む力
- ②指示された通り正確に作業をする力
- ③長時間、負荷のかかる仕事に取り組む続ける力
- ・誰にでも相談できる力
- ・誰にでも同じ態度で接する力
- ・金銭を管理、使用する力

③将来像と照らし合わせて、優先順位の高いもの(上から①②③…と示す。同列のものは・で示す。)から書いていく。

④優先順位の高い力が3つの場で重複した場合は、統合して目標をたてる。(1・2年生は3つの目標が立てられることが望ましい。3年生では絞られて少なくなることもある。)

上記の内容を一年間の目標として文章化すると、どうなるか。それが年間指導目標になる。

〔長期目標〕 ※卒業時まで身につける力
〔年間目標〕 ※一年間で身につける力
(生活、日生、グループ)

(作業、現場実習)
-----------

目標は具体的なもの ・実現可能(達成できる)もの。 ・評価できるもの。
〔年間目標〕

・上記、「~力」の①を最優先して目標を立てる。他に似た力がある場合には、その「力」とも関連づけて目標を立てる。

・長期目標を達成した姿を想像し、段階的に(1→2→3年)身につけるべきことを目標立てる。

関連する指導場面を明確にする。

※将来像の実現にむけて、3つの場のバランスの取れた指導をするために「家庭」「職場」「余暇の場」についての年間指導目標をたてる。年間指導目標が2つに絞られた場合も、必ず「家庭」「職場」「余暇の場」の3つの場の将来像の実現をめざすものを書く。

資料2「支援計画シート」「評価分析シート」

◆授業〔作業学習 班〕 担当教員（ ）

生徒名 \_\_\_\_\_

支 援 計 画	個人目標 (学期)	
	学習活動 (課題設定)	
	予想される つまずき	
	つまずきの 要因 (障害特性等)	
	支 援	
評 価 分 析	評価	
	分析	
	次へ向けて	

資料3 「将来像の実現に向けたアンケート」

令和〇年度 将来像の実現に向けたアンケート

以下の項目について「現在、家庭で取り組んでいること、及び過去に取り組んで現在は定着していること」と「将来像の実現に向けて、家庭で取り組んでいきたいこと」を御記入ください。取り組んでいない項目については、空欄で結構です。御家庭での取り組みのサポートができればと思います。お子さまの将来像の実現に向けて、御家庭との連携を深めていくことができればと思います。

高等部( ) 年 生徒氏名 ( )

項 目	現在、家庭で取り組んでいること、及び過去に取り組んで現在は定着していること	将来像の実現に向けて、家庭で取り組んでいきたいこと
買い物・金銭管理 買い物、金銭の扱い 小遣い帳 電子マネーの利用 等		
調理・食事 調理、火・包丁の扱い 食器洗い 食事マナー 等		
掃除・片づけ 部屋、風呂等の清掃 テーブル拭き 掃除用具の扱い 等		
洗濯 洗濯機、アイロン 洗濯物干し・たたみ 衣類の整理 等		
趣味 休日の過ごし方 おしゃれ、ファッション スポーツ、音楽、美術 等		
外出 交通機関の利用 公共施設の利用 ICカードの利用 等		
情報機器 電話、パソコン 携帯端末、メール 等		
時間・スケジュール 予定表や手帳の活用 時刻を守った行動 留守番時の対応 等		
健康 運動の習慣 バランスのよい食事 季節に合わせた服装 等		
衛生 着替え、清潔、入浴 身だしなみ 歯磨き、洗顔 等		
その他 上記項目以外で御家庭で行っていること、そして将来望むことがあれば御記入ください。		

(裏面に続く)

御家庭の教育方針、ルール等で大切にしていることについて、御記入ください。御家庭での教育方針を踏まえ、学校での指導を考えていくことができればと思います。特になければ空欄で構いません。

項 目	日々の教育方針、ルールとしていること
家族との接し方、かかわり方 (例：家でもきちんとあいさつをする。混んでいる場所では手をつなぐ。)	
友だちとの接し方、かかわり方 (例：メールは定期的に保護者が確認する。異性には過度に触れないように伝えている。)	
近所の方とのかかわり方 (例：自分からあいさつする。地域の行事には、なるべく参加する。)	
公共の場所でのマナー、ルール (例：何かしてもらったらお礼を必ず言う。静かに過ごす。)	
迷子になった時、困った時の対応 (例：店員、駅員等に助けを求め、ヘルプカードを見せる。すぐに家族に電話する。)	
生活リズム (例：毎日夜 10 時に就寝する。休日前だけは遅くまで起きて構わない。)	
食事、間食（おやつ） (例：おかわりは 1 回まで。おやつは少な目にする。)	
週末の過ごし方 (例：なるべく身体を動かす。好きなことができるようにする。)	
その他(家庭教育で大切にしていることやルールについて) (例：自分がやったことの責任は最後まで自分で取る。悪いことをしてしまったら謝る。本人の意思を尊重して家庭では過ごすようにしている。自宅へかかってきた電話は取らない。等)	

お子様の様子について、御家庭で把握されていることを御記入ください。通知表に載せる文章表記（漢字、平仮名の使用等）や、教材づくりの際の参考にさせていただきます。

項 目	お 子 様 の 様 子
読み書きについて (平仮名・片仮名・漢字、文章読解、音読など)	
数字、計算について (数字の理解、数唱、計算など)	
意思表示について (指示理解、自己主張の方法、支援の求め方など)	

資料4 「子どもの未来予想図」

子どもの未来予想図

高等部 年 生徒名: 記入者:

以下の手順に従って、本人及び保護者の考える本人の将来(23~25歳)について書いてください。

【話し合う】

本人の将来に対する率直な願いを思い描き、そのことをご家族で話し合う機会を設けてください。その際、ゆっくり時間をかけて思いを受け止めながら、家庭、職場、余暇の各場面での自分自身の将来のことを本人が語る機会も設けてみてください。なお、そこで語られたことについては、内容を整理して、本人に言葉で返してあげると、本人にとっても将来を考えるよい機会となるかもしれません。

【整理する】

<p>本人の語る夢や希望(なりたいもの、欲しいもの、やりたいことなど)を書いてください 本人からの聞き取りが難しい場合は、将来の本人の望ましい姿についてご家族で話し合ったことを書いてください</p>
<p>今の本人の実態(身辺処理、家事、作業、やりとりなどの力、好きなことなど)を書いてください</p>
<p>将来に向けて心配されること(こころや身体の健康、支援をする人など)を書いてください</p>
<p>上記の実態について、本人や家族はどのように感じているかを書いてください。</p>
<p>本人の語る夢や希望を現実的なものとするために、どの場面で誰を必要とするかを書いてください</p>
<p>本人の語る夢や希望を現実的なものとするために、どのような力を増進させたらよいかを書いてください</p>

【まとめる】将来(23～25 歳)、本人が自分の力を最大限発揮して生き生きと生活している様子を思い浮かべ、そのイメージを家庭、職場、余暇といった場面ごとにできるだけ具体的に書いてください。なお、記述に際しては、【整理する】の内容に基づいて、場面(施設等の名称、内容、頻度)、かかわり(支援を提供してくれる機関、人、支援の程度)、本人の実態(本人の能力、適性、精神面や身体面の課題)、金銭収支の状況(収入、年金)、将来の社会的状況(地域の状況、景気の動向)といった観点から、できるだけ詳しく書いてください。

家庭の将来像 <住居は?どんなサポートを誰から受ける?家庭の役割は?>

職場の将来像 <就労の形態は?仕事内容は?時間は?給料は?>

余暇の場の将来像 <誰と?いつ?どこで?どれくらい?どんな活動?>

【整理する】の  
内容をまとめる